

2020年7月31日

各位

会社名 株式会社 アイ ネット
 代表者名 代表取締役 坂井 満
 兼社長執行役員
 (コード番号 9600 東証第一部)
 問合せ先 取締役兼執行役員 木下 昌和
 経営企画本部長
 電話 (045) 682-0806

業績予想および配当予想に関するお知らせ

2020年5月7日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)通期連結業績予想及び配当予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

1. 業績予想について

2021年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	31,500	2,580	2,540	1,675	105.28
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	31,097	2,501	2,531	1,672	105.13

2. 業績予想の理由

(1) 2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大が当社グループの事業活動に与える影響について合理的に算定することが困難であることから未定としておりました。

4月6日に発令された緊急事態宣言は5月25日に解除されたものの、感染者は東京都を中心に再拡大しており、今なお算定は難しい状況にあります。以下の前提条件のもとで公表させていただきます。

【前提条件】

- ① 新型コロナウイルス感染拡大の第2波、第3波により緊急事態宣言が再度発令されるなど、経済活動に大きな影響をもたらす事象が生じないこと。
- ② 対面機会の制限で当社グループの営業活動には依然大きな制約が生じていますが、今後更にその活動継続が影響を受けないこと。
- ③ 既にお客様の予算執行の遅れやシステム投資計画の大幅な見直しについては今回の業績予想に織り込みにありますが、今後予見できていない更なる計画見直しがないこと。

(2) 上記の業績予想は、昨年策定した中期経営計画の業績計画数字に沿うものです。足元ではシステム開発サービスが大きく影響を受けていますが、最近の当社グループの成長の支えとなっているクラウドサービス・データセンター事業は好調です。バランスのとれた事業ポートフォリオを持つ強みを活かして、中期経営計画策定時には想定していなかったコロナ禍を乗り越え、なお成長を目指す所存です。

3. 配当予想について

2021年3月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (A)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想 (B)	22.00	24.00	46.00
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	21.50	21.50	43.00

4. 配当予想の理由

2021年3月期の業績予想が未定であったことから配当予想につきましても公表していませんでしたが、上記業績予想に基づき、普通配当1.00円増配、更に来年4月に創立50周年を迎えることから記念配当2.00円を実施することで合計3.00円の増配とし、9期連続増配とさせていただき予定です。

今後も、業績拡大により株主の皆様への安定した利益還元を目指してまいります。

※本資料に記載されている予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる場合があります。

以上